GW動向調査

福井県	155%	¥10,962	60.4%
山梨県	136%	¥11,525	68.3%
長野県	131%	¥10,834	66.7%
岐阜県	130%	¥11,218	66.7%
静岡県	149%	¥13,668	55.3%
愛知県	135%	¥8,545	48.5%
三重県	135%	¥11,429	60.5%

長崎県	189%	¥	
熊本県	118%	¥	
大分県	124%	¥	
宮崎県	122%	¥	
鹿児島県	141%	¥	
沖縄県	155%	¥	
平均	141%	¥	

※対象は19年4月27日～5月6日のGW期間で、料金比較対象はGWの2週間前
※観光庁資料より作成

いる。

一方、GW前半と後半を比較してみると、後半のほうが宿泊料金と予約の取れない割合は低い傾向にある。日本旅行業協会（JATA）によると、「旅行商品の販売状況については、海外・国内旅行ともに出発日や目的地を選べば、予約可能なものが依然多い」という。

温泉タトゥー問題

各分野の専門家が議論

飯塚氏「日本人への配慮欠落」

山本芳美氏

飯塚玲児氏

「イレズミ・タトゥーと多文化共生」をテーマとした国際シンポジウムが3月30日、東京都内で開かれた。文化人類学や芸術、哲学、ジャーナリズムの専門家らが出席し、多角的な視点から「温泉タトゥー問題」も議論された。

同シンポ実行委員会を代表して文化人類学者の山本芳美氏（都留文科大学教授）は、「2013年に北海道の入浴施設を訪れたニュージーランドの先住民族マオリの女性が、顔のイレズミを理由に入浴を拒否されたことを契機に『温泉とタトゥー』の問題が大きく注目を集めた」と紹介した。

「今年はラグビーW杯、20年には東京五輪を控え、訪日外国人旅行者が多く訪れる。各専門分野の方々が一堂に会し、温泉タトゥー問題を協議する有意義な場としたい」とあいさつした。

「旅行読売」元編集長で、温泉に詳しい飯塚玲児氏は「温泉タトゥー問題」について、「観光庁が発表した対応事例は、ほぼ外国人観光客を想定しており、イレズミ・タトゥーを入れた日本人への配慮が欠落している」と指摘した。

飯塚氏は独自に、国内を代表する100カ所の温泉地を管轄する観光協会や旅館組合などにアンケートを実施。「イレズミ・タトゥー入浴に対して明確なポリシーがあるか」の問いには、88%が「ない」と答えた。入浴の可否については、81%が「各施設の判断に委ねている」とし、「温泉を管轄する団体や行政レベルでは、積極的に問題解決を目指す姿勢が見られない」と強調。「統一した基準を作ることは難しいが、他人事とは思わずに、継続的に知恵を出し合っていくことが望まれる」と語った。

観光最前

今回の来日公演は日本武道館での5日間のみで、前売券の発売開始前から追加公演はないとアナウンスされていた。年齢、体力的にも無理のないペースでという配慮もあったのではないだろうか。

今年3月に74回目の誕生日

帰ってきたギタ

たのかこのクラプトンの各由

「いとしのレイラ」だった。

私は4月20日の武道館最終日に参戦する予定だ。70歳を超え、さらに円熟味が増したクラプトンの泣きのギターをこの胸にしっかりと焼き付けておきたい。【古沢 克昌】

第1部 13:00～,19:30～